

令和6年度の学校経営の重点

〈学校経営の基本方針と重点〉

- 認め合いのある学校
- 学び合いのある学校
- 支え合いのある学校

教育に携わる者としての使命感と誇りをもち、互いに協力しながら、本校の特色ある教育を創造、推進する。

(1) 重点1 「認め合いのある学校」の実現に向けて

- ・子どもとのふれあいを大切にし、好ましい関係づくりと集団づくり、温かい関わり合いのある学年経営・学級経営に努める。
- ・子どもと子ども、子どもたちと先生、職員同士が尊重し合える学習環境、職場環境を整える。
- ・学校教育目標の達成に向けて、カリキュラム・マネジメントの充実を図り、PDCAのサイクルを機能させ、教職員の協働態勢と相互理解の促進を図り、効率的・機動的な学校運営に努める。

(2) 重点2 「学び合いのある学校」の実現に向けて

- ・子どもの実態や地域の特性をふまえ、学習指導要領の趣旨に基づき、教育内容の改善事項を踏まえた、創造的な教育課程の編成と着実な実施により、学校教育目標の具現化を図る。ICTの活用と少人数によるきめ細やかな指導を通して、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に推進する。
- ・学校図書館の有効活用、日常の読書指導、親子で取り組む読書活動等を通して、読書活動の充実を図る。

(3) 重点3 「支え合いのある学校」の実現に向けて

- ・地域の歴史、自然・伝統と文化を生かすとともに、コミュニティ・スクールの機能を生かし、郷土への愛着と誇りを育む学校経営と西小学校らしい教育の創造と実践を推進する。
- ・校内業務の適正化・効率化を図るとともに、教職員個々の働き方等の改善意識を高め、業務軽減に関する視点を大切にした学校全体での取り組みを推進する。

令和6年度の経営のキーワードと取り組み

命

温

聴

郷

省

on

めい ・ おん ・ ちょう ・ ごう しょう

(1) **けんこう**でたくましい子どもを育むために <命>

- 健康・安全に関する指導の充実
 - ・危険予知と事故の未然防止のための安全教育の徹底と防災教育の推進
 - ・健康な生活の実践に必要な生活習慣・食習慣等に関する指導
 - ・身の回りの生活の安全、交通安全、防災等に関する指導
 - ・家庭と連携した、基本的で自律的な望ましい生活習慣の確立
 - ・交通安全意識の向上と実践力の育成
 - ・「自分の命は自分で守る」実践力の育成
- 体育科授業の充実と健康教育の推進
 - ・体育科の授業を核としたよりよい運動体験、環境の整備と充実
 - ・基礎的な身体能力の育成と体力・運動能力の向上
 - ・アウトメディアやメディアコントロールへの取り組みの充実と推進
 - ・人と自然を畏れ敬う感性と自他の生命と人格を重んじる心の教育

(2) **やさしく**思いやりのある子どもを育むために<温>

- いのちの教育・道徳教育の充実
 - ・生徒指導の三機能の充実による自尊感情の育成
 - ・多様性を尊重し合い、よりよく向上しようとする学級・学年経営の推進
 - ・「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った体験活動と行事の充実
- 教師と子ども、子ども同士の間人間関係を深める学年・学級経営の充実
 - ・学年担任全員による児童理解
 - ・言語環境の充実、教室環境の整備、各種掲示物の工夫
 - ・児童相互の交流、異学年間交流、縦割り班活動、豊かな体験の充実
 - ・思慮深さと思いやりの心を育む教育活動と生徒指導・教育相談の充実
- 保護者、地域と連携し温かいコミュニケーションのある学校づくりの推進
 - ・教育相談の機会を生かした保護者との信頼関係と協力関係の構築
 - ・傾聴を第一とした困り感の共有と誠実で丁寧な対応

- ・ 事実に基づく対応と「報告」「連絡」「相談」の徹底

(3) **き**づき考え学びあう子どもを育むために <聴>

- 自主的・自治的活動の推進
 - ・ 学年内の教科担任制等による学習の定着・学習習慣の形成
 - ・ 異学年児童の交流の推進と児童会活動の活性化
 - ・ 資質・能力の基盤となる「言葉の力」の育成（読書と言語活動）
 - ・ 一人一人への教育的配慮という視点に立った支援教育の充実
- 校内研究の推進
 - ・ 学び合う授業の創造をめざした、日常的な研究・修養
 - ・ 主体的・対話的で深い学びの実現と ICT の活用
 - ・ 深く自分を振り返る力の育成
- キャリア教育の充実
 - ・ 学級活動を要とし各教科等における学習と連携した指導
 - ・ キャリアパスポートの継続的な活用

(4) 家庭・地域との連携 <郷>

- ふるさとや地域への誇りと愛着を育む学習の推進
- 学校運営協議会の熟議、学校評価の検証等を基にした経営改善
- PTAや社会教育などの「地域の教育資源」との連携
- 幼稚園・保育園・小学校・中学校・高等学校との連携

◇すべての根底に 深い振り返りと畏敬の念 <省>

※PDCAを意識して日々の教育活動を進める。そのために、振り返りや評価を適切に実施しきめ細かな指導を行う。

本年度の学校経営の重点実現への行動視点

(1) 学校生活における安全管理と危機対応の強化

- ①いじめ解決に向けた、学校一丸となった組織的対応
- ②安全指導の徹底とメールを活用した自然災害に係る危機対応体制の強化
- ③関係機関と連携した迅速な組織的対応
- ④児童の実情に寄り添う指導と支援及び校内教育相談体制の強化と充実

(2) 自然災害、熱中症、感染症等への危機対応の強化

- ①暑さや台風等への緊急的な対応の整備と連絡メールの積極的活用
- ②暑さ指数等の計測、台風や豪雨の事前予測における対応体制の整備
- ③感染症対策への不断の取り組み

(3) 学力向上に向けて

- ①ICT教育の推進とタブレットの積極活用
- ②学校研究に基づく授業づくりと授業実践、家庭学習習慣づくりの充実、推進
- ③地域の方の講話や出前授業の実施及び豊かな体験活動の充実、
- ④読書活動、図書館教育、読み聞かせの推進と充実

(4) 「未来を拓く」学習と生活づくり

- ①家庭と連携した「早寝・早起き・朝ごはん」
- ②アウトメディア、メディアコントロールの取り組み
- ③新聞活用、国際交流、キャリア教育、数理的思考力や情報活用力の育成